

保育補助スタッフ養成講座の事業内容

事業実施の背景

本市では、子育て世帯とみられる0～9歳の子どもと、その親世代の市外への流出が顕著となっている。その要因として待機児童の問題が挙げられる。保育施設の増設などで年々解消されつつあるが、沖縄県の2018年4月1日時点の「県内の潜在的待機児童数」の速報値では、本市は、県内で最も潜在的待機児童が多い状況にある。子育て世代の人口流出を防ぐためにも、仕事と子育てが両立できるよう子育て環境の整備が必要である。待機児童の解消には、その要因の一つである保育士不足の解消が必要である。保育士不足の背景には、「給料が低い」という原因のほか、「勤務時間が長い」「休日出勤が多い」ということも要因の一つとなっている。こうしたことから、比較的時間に余裕のある高齢者を活用した取組を推進することが有効である。高齢者向けの保育業務の切り出しを行い、保育士の資格を持たない保育補助者として、高齢者がその業務に従事することにより、保育士の負担軽減と離職防止を図ることができる。更には、保育に従事していない潜在保育士の掘り起しに繋がり、保育士不足解消を図ることが可能となる。

市町村別待機児童数（速報値）
（▲：マイナス、各年とも4月1日時点）

	2019年	2020年	増減比
那覇市	250	153	▲97
宜野湾市	71	46	▲25
石垣市	55	35	▲20
浦添市	85	7	▲78
名護市	45	82	▲37
糸満市	54	26	▲28
沖縄市	198	100	▲98
豊見城市	89	139	▲50
うるま市	75	66	▲9
宮古島市	12	9	▲3
南城市	145	110	▲35
国頭村	1	0	▲1
大宜味村	0	1	▲1
東村	0	0	0
今帰仁村	0	0	0
本部町	0	0	0
恩納村	20	4	▲16
宜野座村	0	0	0
金武町	0	0	0
伊江村	0	9	▲9
読谷村	35	48	▲13
嘉手納町	37	5	▲32
北谷町	40	38	▲2
北中城村	48	78	▲30
中城村	15	0	▲15
西原町	68	63	▲5
与那原町	59	42	▲17
南風原町	208	194	▲14
渡嘉敷村	0	0	0
座間味村	0	0	0
粟国村	0	0	0
渡名喜村	0	0	0
南大東村	0	0	0
北大東村	0	0	0
伊平屋村	0	0	0
伊是名村	0	0	0
久米島町	0	10	▲10
八重瀬町	92	100	▲8
多良間村	0	0	0
竹富町	0	0	0
与那国町	0	0	0
合計	1,702	1,365	▲337

昨年度の保育補助スタッフ講座の様子

講師は、浦添市役所 こども未来部保育課 利用者支援事業担当（保育コンシェルジュ）崎枝 朝子 氏です。保育士及び保育士補助の業務内容から保護者との関わり、発達に応じた園児との関わり方など幅広く学びました。講座終了後には、保育補助スタッフ相談・面接会に向けた履歴書指導、面接対策等も実施しました。こちらの講座を受けた方は、修了証を交付しています。



修了証交付



受講生の皆さんと崎枝先生

（内容）

- ・保育の現状と保育補助の役割
- ・子どもの年齢による発達と理解
- ・子どもの遊びと実際など

（講座時間）

3時間×6日間＝18時間程度
履歴書作成、面接対策もあります

・今回、受けた講座のステップアップした内容が有れば受けてみたい。

・講師の体験談やビデオなど、様々な事例を知ることができてよかったです。折り紙などの実践ももっとやってみたいと思いました。素敵な講座をありがとうございました。

昨年度の内容 カリキュラム

参加者の声

出所：2019年6月19日
琉球新報



昨年度、就職者実績9名！